



睡眠時無呼吸症候群(SAS)とは

空気の通り道である上気道が狭くなり、
睡眠時に何回も呼吸が止まる
深い眠りにつくことが出来ない病気です。



症状

- ・日中に強い眠気がさす
- ・大きいいびきをかく
- ・夜間の呼吸停止
- ・起床時の頭痛

など

合併症のリスク

循環器系に大きな影響があり、放っておくと
高血圧、生活習慣病、脳卒中、狭心症、心不全などと合併する
リスクが高くなります。

影響

日中は、眠気と集中力低下で
・疲れやすい
・仕事に集中できない
・居眠りによる事故の発生
などがあり、
仕事や生活に支障が出ます。

入院費用

1泊2日の場合

- | | |
|----|-----------|
| 3割 | 約 35,520円 |
| 2割 | 約 23,860円 |
| 1割 | 約 11,840円 |

※食事代は別途かかります

症状がある場合は早めの受診

をおすすめします。

生活習慣の改善や専用装置で治療をしていきます。

担当
医師

榎本 瞳



基本的な検査と治療の流れ

自宅
1晩



SAS簡易検査
(スクリーニング検査)

自宅で行う簡易検査です。
センサをテープで貼りつけて簡単に検査を始められます。
睡眠中の呼吸の状況や血液中の酸素濃度などを同時に測定して、無呼吸の有無を検査します。

入院
1泊2日



必要に応じて
終夜睡眠ポリグラフ検査
(PSG検査)

入院して行う精密検査です。
脳波・筋電図・心電図・呼吸・血液中の酸素などの生命信号を測定して、総合的な睡眠呼吸障害を診断します。
眠っている状態を検査するため、1泊2日の入院が必要になります。

SASと
判断



CPAP治療

CPAP装置から処方された空気を気道に送り、常に圧力をかけて塞がっていた気道を広げます。
CPAPは治療効果が高い治療法です。
睡眠中の無呼吸やいびきの減少、SASの症状改善が期待されます。

【無呼吸の時】



【CPAP治療中】



お問い合わせ先

医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院

048-474-7211 〒352-0001 埼玉県新座市東北1-7-2

ホームページURL:<https://niizashiki-hp.jp/> 右記の二次元コードからもアクセス出来ます。

